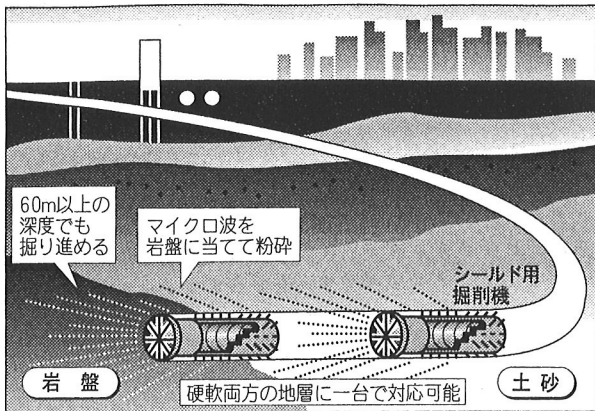


「KM21TM」によるトンネル工法のイメージ



三菱重工業とゼネコンを膨らませている。標準大手の熊谷組は六日までに、さまざまな地層に一台の掘削機で対応でき、従来より長距離でも完全機械化で掘り進むことが出来るトンネル工法を開発したことを明らかにした。両社は「日韓海底トンネルのほか、都市再生事業での深い地底の掘削も可能になる」と夢

日韓トンネル掘れます

三菱重、熊谷組が新工法

◇陸奥湾の水温 (6日午前9時)

場所	水深	-1m	-15m	-30m	底層
平館村沖		20.1	20.2	19.7	19.0
青森市久栗坂沖		20.3	20.3	20.3	18.8
東湾中央		20.0	20.0	20.1	17.6
平内町茂浦地先		観測なし。			

最高	最低	平均(平年)	日照	降水
18.9	12.6	16.3(14.5)	2.7	—
20.7	10.5	15.7(14.7)	8.6	—
21.4	11.5	16.7(15.6)	8.9	—
20.1	12.3	16.3(15.4)	9.0	—
21.5	10.7	15.4(14.5)	8.8	—
20.5	11.4	15.6(14.5)	8.1	—
21.7	12.0	16.3(15.1)	8.8	—
21.0	10.1	15.7(14.1)	8.9	—
22.3	12.1	16.5(15.0)	9.2	—
22.7	9.2	14.9(14.0)	8.9	—

◇農業気象(5日)

題となるが、完全機械化で克服。熊谷組は五き以上の長距離トンネルで

「工期は四割、経費は二割削減可能」と試算、十四年かかった青函トンネルの工事も「この工法なら七年程度で完成できる」(同社)。掘削機の製作費は五十億円程度になるといふ。

日韓海底トンネルは、韓国政府が今年四月、韓国・釜山と長崎県対馬を経由して九州に至る約二百きの海底トンネル建設の妥当性を一年間かけて検討することを明らかにするなど、官民双方で研究が進んでいる。

東奥日報

〒030-0180  
青森市第二問屋町3丁目1番89号  
東奥日報社  
電話 017-739-1111  
©東奥日報社 2002